

暦の上ではもう春ですね。ここのところ不安定な天候が続いていますが、それでも“三寒四温”の言葉どおり、冷たい北風の中にも日毎に和らいでゆく陽射しが季節の移り変わりを感じさせます。ふと見上げる木々の枝の先には いつの間にか うっすらと色づいた小さなつぼみ達が 時を待ちながら 少しずつ少しずつ 膨らみ始めています。ささやかな生命の息吹を通して、神様の恵みの御業と深い御旨を 改めて思われます。

今年度の歩みも 残り少なくなりました。時の流れの速さを実感する反面、目の前の子ども達ひとりひとりの姿を見つめながら この1年の 確かな成長を実感しています。

さて、昨日のことです。お昼ごはんが終わって、幼児クラスの子も達が 2階から元気よく砂場へ飛び出して行きました。ちょうど玄関にいた私は 皆の姿が可愛らしくしばらく立ち止まって眺めていると、そこへ こあら組の2人の男の子がそばに来て「この前みたいにさ“よーいどん!”ってやって!」とニコニコの笑顔で言いながら素早く“位置について”のポーズをとったので、すかさず合図を出しました。すると砂場周辺で遊ぶ子ども達をうまくすり抜け、突き当りの門扉にタッチすると 大急ぎでまた勢いよく駆け込んできました。「Mくん 1番!」「Aくん 2番!」と それぞれにタッチしてゴール。その途端 2人が同時に「もう1回!」の声。すぐさま「よーい!」と声をかけると どこからか「オレもやりたい!」「入れて!」とY君とS君とK君の3人が駆け寄って来ました。それから 何度も繰り返す度に仲間が増えていき、見ると、らっこ組の男の子達も いるか組のメンバーも仲間入りしていて、玄関前は大騒ぎです。そこで 皆に下の運動場に行って続けることを提案すると、歓声を上げながら 一斉に降りて行きました。それから1列に並び「よーいどん!」で走り出し、桜の木の幹にタッチしてUターンの後、私の手にタッチでゴール。年少組から年長組まで それぞれ夢中で しばらく走っていました。そうやって何度も繰り返しているうちに 私の元にこあら組のY君が「ホラ」と10cm位の木の子を持って 駆け寄って来ました。そして「これをお友達に渡して走りたい!」と言いました。「えっ?それってリレーのこと?」私よりも先に いるか組のK君が即答すると、Y君はにっこり笑って「そうだよ!」と大きく頷きました。するとそれを聞いた いるか組の子ども達が「お〜!」「いいね〜」「リレーやりたいのか」とY君の肩を抱いて、大賛成。周りの子ども達も「やる〜!」とぴょんぴょん飛び跳ねて大喜びです。「もう1本 バトンがいるね」の私の声に 皆が一斉に下を向いて Y君が持っているのと同じような枝を捜し始めました。「あった!」いるか組のI君が見つけた枝のバトンに 拍手。「じゃ 始めよう!」と声をかけた途端ここからは 私の出番は ほとんどありませんでした。いるか組の子ども達がさっと前に立ち「みんな集まって!」「どっちのチーム?」「誰と一緒に走りたい?」などなど年中組と 年少組のメンバーに丁寧に声をかけ それぞれチーム分けを始めていました。次に チームごとに1列に並んで、走る相手と順番を確認していた いるか組のY君は「こっちは小さい子が多いから僕はこっちに移って最後に走るよ」とバランスを調整Mちゃんは「遅くても大丈夫だからね、Mにまかせて!」と らっこ組のS君に笑顔で頭をなでていました。時間の関係で1回戦の勝負でしたが 勝ち負けよりも小さい皆をリードしながら一緒に出来たことを喜んでいた いるか組の子ども達の姿は 頼もしくとても微笑ましかったです。そして 憧れのリレーをいるかさんと一緒に出来たことに満足そうだった こあら組とらっこ組の子ども達。Y君の一言から 思いがけない形で発展した“混合リレー”でしたが、なんとも心温まる すてきなひと時になりました。

間もなく つのぶえを巣立って行く いるか組の子ども達ですが 神様から愛されている 安らかな想いを通して育まれた優しく穏やかな心は これから生きていく上での大切な宝物となり、ひとりひとりの力となることを 確信した出来事でした。(石田 記)
「何事でも、自分にしてもらいたいことは、ほかの人にも そのようにしなさい。(マタイ7:12)」